



2015年度 第2四半期決算

**KOBELCO**



2015年10月30日  
株式会社神戸製鋼所  
代表取締役副社長 梅原 尚人



# 報告事項

1. 第2四半期決算
2. 2015年度業績見通し
3. 中期計画の進捗状況
4. 財務の状況
5. 参考データ



# 1. 第2四半期決算

---



ECOWAY

# 2015年度 第2四半期実績

(単位：億円)

	2014年度	2015年度			差異		
	上期	上期					
	実績	7月公表	9月公表	実績	対前年	対7月	対9月
	①	②	③	④	④-①	④-②	④-③
売上高	9,160	9,500	9,400	<b>9,286</b>	+126	△214	△114
営業利益	571	500	450	<b>470</b>	△101	△30	+20
経常利益	461	400	350	<b>330</b>	△130	△70	△20
(在庫評価影響を除く)	(496)	(465)		<b>(405)</b>	(△91)	(△60)	
特別損益	-	△39		<b>△94</b>	△94	△55	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	421	200	100	<b>134</b>	△286	△66	+34



ECO WAY

## 第2四半期 セグメント別 売上高

(単位：億円)

売 上 高	2014年度 上期	2015年度 上期		差異	
	実績 ①	7月公表 ②	実績 ③	対前年 ③ - ①	対7月 ③ - ②
鉄 鋼	3,866	3,750	<b>3,774</b>	△92	+24
溶 接	456	470	<b>466</b>	+10	△4
アルミ・銅	1,615	1,850	<b>1,783</b>	+168	△67
機 械	730	870	<b>812</b>	+82	△58
エンジニアリング	190	270	<b>255</b>	+65	△15
神鋼環境ソリューション	271	340	<b>318</b>	+46	△22
コベルコ建機	1,697	1,450	<b>1,470</b>	△226	+20
コベルコクレーン	358	400	<b>390</b>	+31	△10
そ の 他	304	350	<b>357</b>	+52	+7
調 整	△331	△250	<b>△343</b>	△11	△93
合 計	9,160	9,500	<b>9,286</b>	+126	△214



ECO WAY

## 第2四半期 セグメント別 経常損益

(単位：億円)

経常損益	2014年度 上期	2015年度 上期		差異	
	実績 ①	7月公表 ②	実績 ③	対前年 ③-①	対7月 ③-②
鉄 鋼	104	120	<b>75</b>	△29	△45
溶 接	46	40	<b>43</b>	△3	+3
アルミ・銅	60	90	<b>94</b>	+33	+4
機 械	32	20	<b>28</b>	△4	+8
エンジニアリング	△5	15	<b>20</b>	+25	+5
神鋼環境ソリューション	3	2	<b>6</b>	+2	+4
コベルコ建機	161	30	<b>△4</b>	△166	△34
コベルコクレーン	31	15	<b>24</b>	△7	+9
そ の 他	19	20	<b>33</b>	+14	+13
調 整	5	48	<b>10</b>	+4	△38
合 計	461	400	<b>330</b>	△130	△70



## 2. 2015年度業績見通し

---



EcoWay

# 2015年度 業績見通し

(単位：億円)

	2014年度	2015年度			差異		
	実績 ①	7月公表 ②	9月公表 ③	今回見通し ④	対前年 ④-①	対7月 ④-②	対9月 ④-③
売上高	18,868	19,500	19,000	<b>18,700</b>	△168	△800	△300
営業利益	1,194	1,250	950	<b>900</b>	△294	△350	△50
経常利益	1,016	950	650	<b>550</b>	△466	△400	△100
(在庫評価影響を除く)	(1,081)	(1,055)		<b>(720)</b>	(△361)	(△335)	
特別損益	26	△39		<b>△200</b>	△226	△161	
親会社株主に帰属する 当期純利益	865	600	250	<b>200</b>	△665	△400	△50





ECO WAY

# 2015年度 セグメント別 売上高

(単位：億円)

売 上 高	2014年度	2015年度 (7月公表)			2015年度 (今回見通し)			差異	
	実績 ①	上期	下期	年度 ②	上期	下期	年度 ③	対前年 ③-①	対7月 ③-②
鉄 鋼	7,978	3,750	3,900	7,650	<b>3,774</b>	<b>3,676</b>	<b>7,450</b>	△528	△200
溶 接	944	470	490	960	<b>466</b>	<b>464</b>	<b>930</b>	△14	△30
アルミ・銅	3,308	1,850	1,900	3,750	<b>1,783</b>	<b>1,717</b>	<b>3,500</b>	+192	△250
機 械	1,591	870	870	1,740	<b>812</b>	<b>928</b>	<b>1,740</b>	+149	±0
エンジニアリング	490	270	280	550	<b>255</b>	<b>255</b>	<b>510</b>	+20	△40
神鋼環境ソリューション	681	340	490	830	<b>318</b>	<b>527</b>	<b>845</b>	+164	+15
コベルコ建機	3,110	1,450	1,550	3,000	<b>1,470</b>	<b>1,330</b>	<b>2,800</b>	△310	△200
コベルコクレーン	711	400	400	800	<b>390</b>	<b>370</b>	<b>760</b>	+49	△40
そ の 他	760	350	430	780	<b>357</b>	<b>423</b>	<b>780</b>	+20	±0
調 整	△707	△250	△310	△560	<b>△343</b>	<b>△272</b>	<b>△615</b>	+92	△55
合 計	18,868	9,500	10,000	19,500	<b>9,286</b>	<b>9,414</b>	<b>18,700</b>	△168	△800



ECO WAY

# 2015年度 セグメント別 経常損益

(単位：億円)

経常損益	2014年度	2015年度 (7月公表)			2015年度 (今回見通し)			差異	
	実績 ①	上期	下期	年度 ②	上期	下期	年度 ③	対前年 ③-①	対7月 ③-②
鉄鋼	287	120	230	350	<b>75</b>	<b>125</b>	<b>200</b>	△87	△150
溶接	102	40	50	90	<b>43</b>	<b>37</b>	<b>80</b>	△22	△10
アルミ・銅	151	90	70	160	<b>94</b>	<b>46</b>	<b>140</b>	△11	△20
機械	104	20	45	65	<b>28</b>	<b>37</b>	<b>65</b>	△39	±0
エンジニアリング	7	15	△10	5	<b>20</b>	<b>△15</b>	<b>5</b>	△2	±0
神鋼環境ソリューション	30	2	33	35	<b>6</b>	<b>27</b>	<b>33</b>	+3	△2
コベルコ建機	210	30	70	100	<b>△4</b>	<b>14</b>	<b>10</b>	△200	△90
コベルコクレーン	51	15	35	50	<b>24</b>	<b>11</b>	<b>35</b>	△16	△15
その他	70	20	55	75	<b>33</b>	<b>42</b>	<b>75</b>	+5	±0
調整	△0	48	△28	20	<b>10</b>	<b>△103</b>	<b>△93</b>	△93	△113
合計	1,016	400	550	950	<b>330</b>	<b>220</b>	<b>550</b>	△466	△400



ECO WAY

**【鉄鋼】**

(単位：億円)

	2015年度（7月公表）			2015年度（今回見直し）			差異 年度 ② - ①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
売上高	3,750	3,900	7,650	<b>3,774</b>	<b>3,676</b>	<b>7,450</b>	△200
経常利益	120	230	350	<b>75</b>	<b>125</b>	<b>200</b>	△150
(内 在庫評価影響)	(△70)	(△40)	(△110)	(△75)	(△60)	(△135)	(△25)

**2015年度の状況**

- 上期は、国内自動車や輸出向けの需要が減少したほか、生産トラブルの影響により生産量減少、保全費などのコストが増加。
- 下期に向けて、海外市況の悪化などを背景とした販売数量減、海外子会社の業績および在庫評価影響の悪化などが想定される。



ECOWAY

# 【鉄鋼】生産・販売状況

	2014年度				2015年度	
	1Q	上期	下期	年度	1Q	上期
全国粗鋼 (万t)	2,767	5,556	5,429	10,985	<b>2,586</b>	<b>5,207</b>
全国在庫水準 (万t)	583	593	584	--	<b>573</b>	8月末 <b>585</b>
薄板3品在庫水準 (万t)	420	431	431	--	<b>431</b>	8月末 <b>425</b>
国内自動車生産台数 (万台)	240	478	481	959	<b>217</b>	4-8月計 <b>362</b>

## <当社>

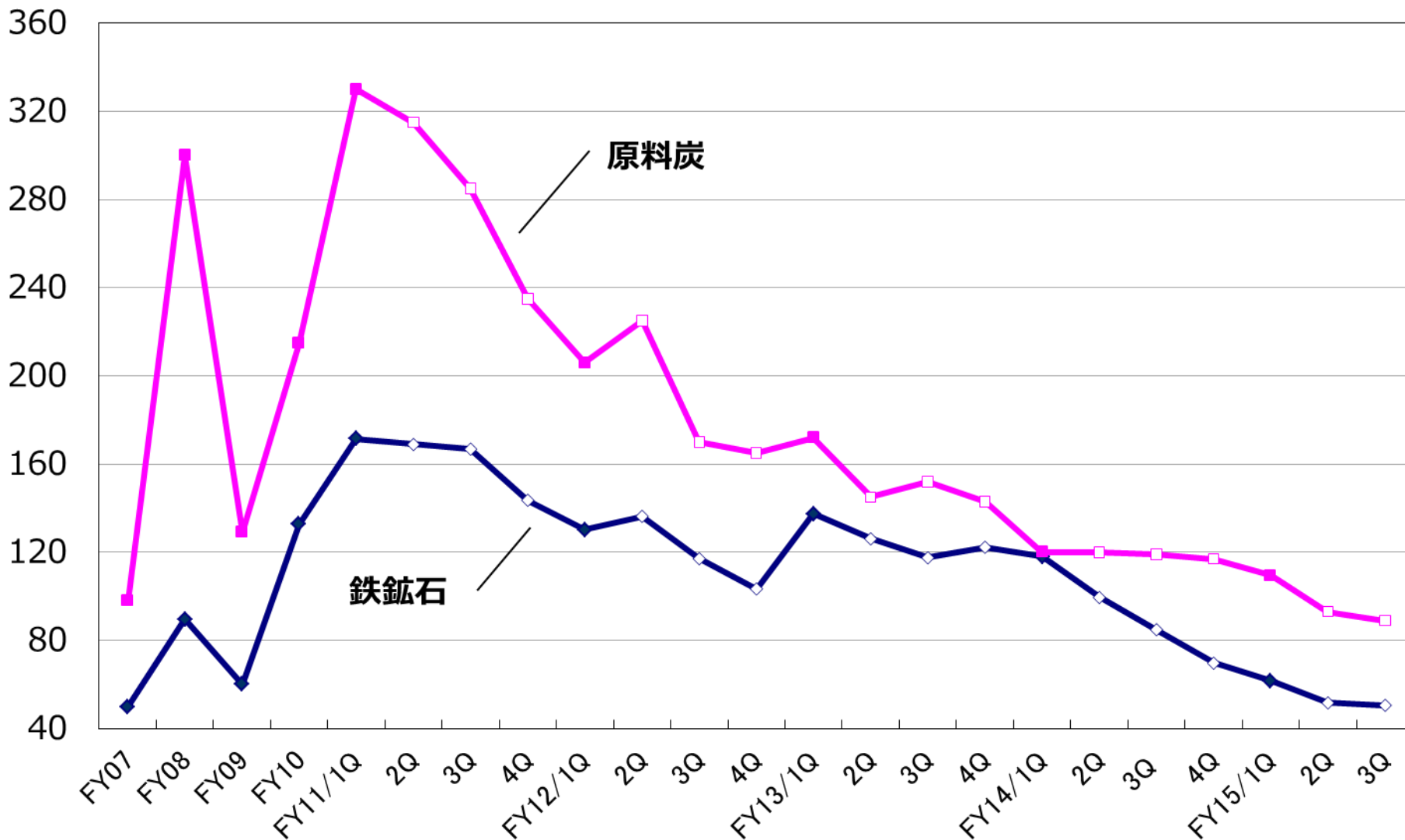
粗鋼生産 (万t)	177	367	381	748	<b>184</b>	<b>367</b>
鋼材販売量 (万t)	144	294	311	605	<b>148</b>	<b>297</b>
(内国内)	(101)	(205)	(212)	(417)	<b>(98)</b>	<b>(197)</b>
(内海外)	(43)	(89)	(99)	(188)	<b>(50)</b>	<b>(100)</b>
鋼材販売単価 (千円/t)	82.5	82.4	81.0	81.7	<b>80.5</b>	<b>78.7</b>
鋼材輸出比率 (金額ベース)	30.5%	30.6%	33.5%	32.1%	<b>34.8%</b>	<b>34.2%</b>



ECO WAY

# 【鉄鋼】鉄鉱石と原料炭（強粘炭） 価格推移

(単位：\$/トン)

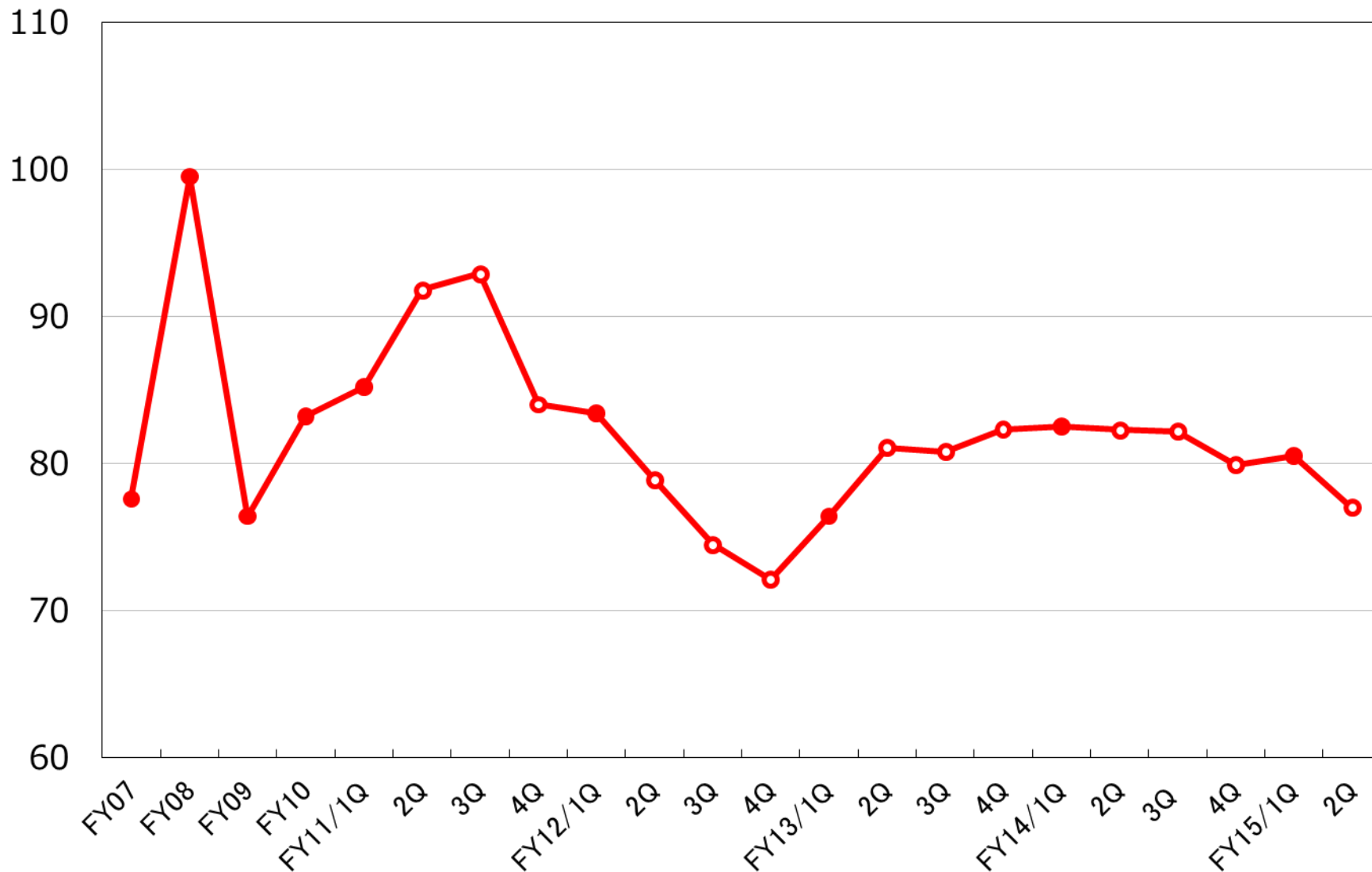




ECO WAY

## 【鉄鋼】鋼材単価の推移

(単位：千円/トン)





ECOWAY

# 【溶接】

(単位：億円)

	2015年度（7月公表）			2015年度（今回見直し）			差異
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	年度 ②－①
売上高	470	490	960	<b>466</b>	<b>464</b>	<b>930</b>	△30
経常利益	40	50	90	<b>43</b>	<b>37</b>	<b>80</b>	△10

## <当社の販売状況>

(単位：千t)

	2014年度				2015年度	
	1Q	上期	下期	年度	1Q	上期
国内	34	67	68	135	<b>33</b>	<b>66</b>
海外	47	95	92	187	<b>44</b>	<b>87</b>
合計	81	162	160	322	<b>77</b>	<b>153</b>

## 2015年度の状況

- 溶接システムは、国内建築向けを中心に好調を維持。
- 溶接材料は、中国や東南アジアの景気減速、原油安の影響に伴う海洋構造物等のプロジェクト案件の停滞などにより、販売数量が減少。



ECO WAY

# 【アルミ・銅】

(単位：億円)

	2015年度 (7月公表)			2015年度 (今回見通し)			差異 年度 ② - ①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
売上高	1,850	1,900	3,750	<b>1,783</b>	<b>1,717</b>	<b>3,500</b>	△250
経常利益	90	70	160	<b>94</b>	<b>46</b>	<b>140</b>	△20
(在庫評価影響)	(5)	(0)	(5)	<b>(0)</b>	<b>(△35)</b>	<b>(△35)</b>	(△40)

## <当社の販売状況>

(単位：千t)

	2014年度				2015年度	
	1Q	上期	下期	年度	1Q	上期
アルミ圧延品 国内	63	125	126	251	<b>73</b>	<b>140</b>
輸出	15	29	36	65	<b>17</b>	<b>33</b>
銅板条	14	27	27	54	<b>13</b>	<b>25</b>
銅管	24	45	40	85	<b>22</b>	<b>42</b>

## 2015年度の状況

- 銅板条・銅管においては、半導体やエアコン向けに需要が弱含んだものの、飲料用缶材や自動車向けのアルミ圧延品・サスペンション用のアルミ鍛造部品は堅調に推移。
- アルミ・銅地金価格の下落に伴い在庫評価影響が悪化。





ECO WAY

**【機械】**

(単位：億円)

	2015年度（7月公表）			2015年度（今回見通し）			差異
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	年度 ②－①
売上高	870	870	1,740	<b>812</b>	<b>928</b>	<b>1,740</b>	±0
経常利益	20	45	65	<b>28</b>	<b>37</b>	<b>65</b>	±0
受注高	--	--	1,500程度	<b>736</b>	<b>760程度</b>	<b>1,500程度</b>	--

**2015年度の状況**

- ・ 前回想定から大きな変化なし。
- ・ 原油安に伴う競争激化を背景に、受注案件数の減少、受注時採算の悪化など、引き続き厳しい事業環境が継続すると想定。



ECO WAY

# 【エンジニアリング】

(単位：億円)

	2015年度（7月公表）			2015年度（今回見通し）			差異
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	年度 ②－①
売上高	270	280	550	<b>255</b>	<b>255</b>	<b>510</b>	△40
経常損益	15	△10	5	<b>20</b>	<b>△15</b>	<b>5</b>	±0
受注高	--	--	600程度	<b>425</b>	<b>175程度</b>	<b>600程度</b>	--

## 2015年度の状況

- ・ 前回想定から大きな変化なし。



ECOWAY

# 【神鋼環境ソリューション】

(単位：億円)

	2015年度（7月公表）			2015年度（今回見通し）			差異
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	年度 ② - ①
売上高	340	490	830	<b>318</b>	<b>527</b>	<b>845</b>	+15
経常利益	2	33	35	<b>6</b>	<b>27</b>	<b>33</b>	△2

## 2015年度の状況

- 前回想定から大きな変化なし。



ECO WAY

**【コベルコ建機】**

(単位：億円)

	2015年度（7月公表）			2015年度（今回見通し）			差異 年度 ②－①
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	
売上高	1,450	1,550	3,000	<b>1,470</b>	<b>1,330</b>	<b>2,800</b>	△200
経常利益	30	70	100	<b>△4</b>	<b>14</b>	<b>10</b>	△90

**2015年度の状況**

- 国内更新需要は一巡、中国および東南アジアでは想定を上回る大幅な需要縮小。
- 中国、東南アジアの生産拠点では、大幅な生産調整を行うとともに、固定費や棚卸資産の削減など、損益改善策への取り組みを強化。



ECO WAY

# 【コベルコクレーン】

(単位：億円)

	2015年度（7月公表）			2015年度（今回見通し）			差異
	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	年度 ② - ①
売上高	400	400	800	<b>390</b>	<b>370</b>	<b>760</b>	△40
経常利益	15	35	50	<b>24</b>	<b>11</b>	<b>35</b>	△15

## 2015年度の状況

- 景気減速の影響を受け、東南アジア向け販売台数が減少。
- 品質維持・改善のためのコスト増加。



ECO WAY

余 白



## 3. 中期計画の進捗状況

---



ECO WAY

# 【経営基盤の再構築】

(効果額：2012年度比)

取り組み	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 今回見通し	2015年度 中期計画
鉄鋼事業の収益力強化	300億円	380億円	430億円	600億円

- 設備投資効果 : +90億円  
(70億円→160億円)
- 生産現場レベルでのコスト削減 : +30億円  
(180億円→210億円)
- 固定費削減、他 : △70億円  
(130億円→60億円)

**+50億円**

(外数) 減価償却費・労務費他

**△45億円****鉄鋼総コスト削減** (14年度→15年度)**+5億円**

※P44参照

更なる競争力強化に向け  
加古川製鉄所において  
**2基目の脱りん炉導入**  
(2017年度稼動)  
を意思決定  
**20億円強/年のコストダウン**





ECOWAY

## 【安定と成長への布石】

### 鋼材事業の構造改革

2017年を目処に上工程設備を加古川製鉄所へ集約

工事効果額：150億円/年（中期計画）

- 設備発注、現地工事など全体的に予定通り進捗
- 上工程変更に伴い必要となる需要家の再承認取得を推進

### 成長市場での事業拡大：自動車分野

- 鉄鋼
- ：北米）自動車用冷延ハイテン製造設備稼働開始（2013年5月稼働）
  - ：中国）自動車用冷延ハイテン製造合弁会社設立（2016年初頭稼働予定）
  - ：当社チタン材がトヨタ自動車「MIRAI」に採用
  - ：**タイ）線材の製造・販売合弁会社の設立検討**
- アルミ・銅
- ：中国）アルミ鍛造拠点における能力増強設備稼働開始（2013年4月稼働）
  - ：中国）自動車パネル用アルミ板材製造会社設立（2016年稼働予定）
  - ：北米）自動車パネル用アルミ板材製造合弁会社設立検討
  - ：北米）アルミ鍛造拠点における能力増強設備稼働開始（2014年8月稼働）



ECO WAY

## 【安定と成長への布石】

### 成長市場での事業拡大（エネルギー・インフラ分野）

- 機械 : パッケージ型水素ステーションユニットの提供拡大  
: ブラジル) 圧縮機販売・サービス拠点設立
- エンジニアリング : voestalpine社から米国のMIDREX還元鉄プラントを受注  
**Tosyali社からアルジェリアのMIDREX還元鉄プラントを受注**
- コベルコ建機 : 欧米市場への再参入  
: 北米) 油圧ショベルの生産工場設立（16年4月量産開始）





ECO WAY

## 【安定と成長への布石】

### 電力供給事業の拡大

#### ◇栃木県真岡市でガス火力発電所を建設

- 東京瓦斯株式会社と電力受給契約を締結
- 発電能力：120万kW（60万kW×2基）
- 2019年7月の供給開始を予定
- 現在、環境アセスメントを実施中

#### ◇神戸製鉄所で石炭火力発電所を増設

- 関西電力株式会社と電力受給契約を締結
- 発電能力：130万kW（65万kW×2基）
- 2021年度の供給開始を予定
- 現在、環境アセスメントを実施中

国内初の内陸型火力発電所



内閣官房

**国土強靱化**

**民間の取組事例集**

に選定



既存の石炭火力発電所（140万kW）と合計すると  
**390万kWの発電能力に**



ECO WAY

## 【ご参考】 次期中期計画のコンセプト

素材系事業の  
グローバル展開

自動車の軽量化

機械系事業の  
戦略的拡大

グローバル展開  
水素社会実現への貢献

電力供給事業の  
拡大

新たな発電所の建設

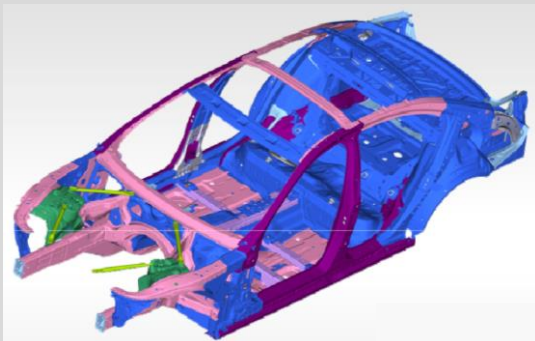




ECO WAY

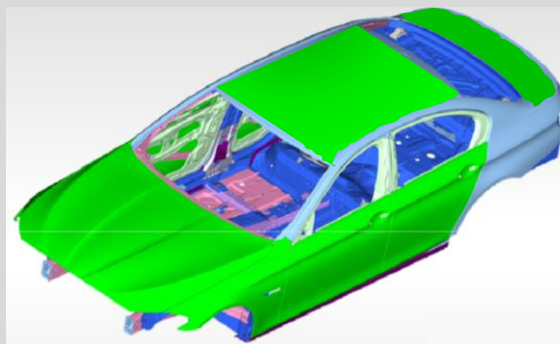
## 【ご参考】 自動車の軽量化への取り組み

### マルチマテリアル構造開発の加速

#### ハイテン鋼板、アルミパネルの適用

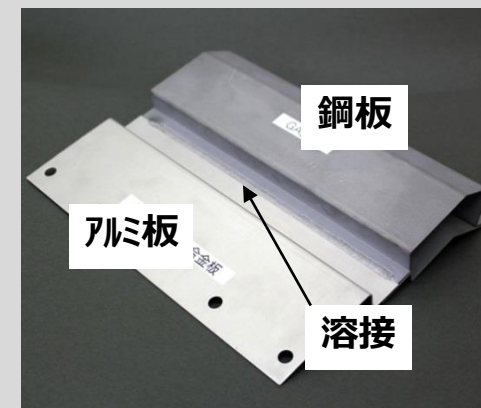


  ハイテン鋼板適用部位



 アルミパネル適用部位

#### 異種金属接合技術



マルチマテリアル構造技術  
展示ルーム  
(西神研究所内)



ECO WAY

余 白



## 4. 財務の状況

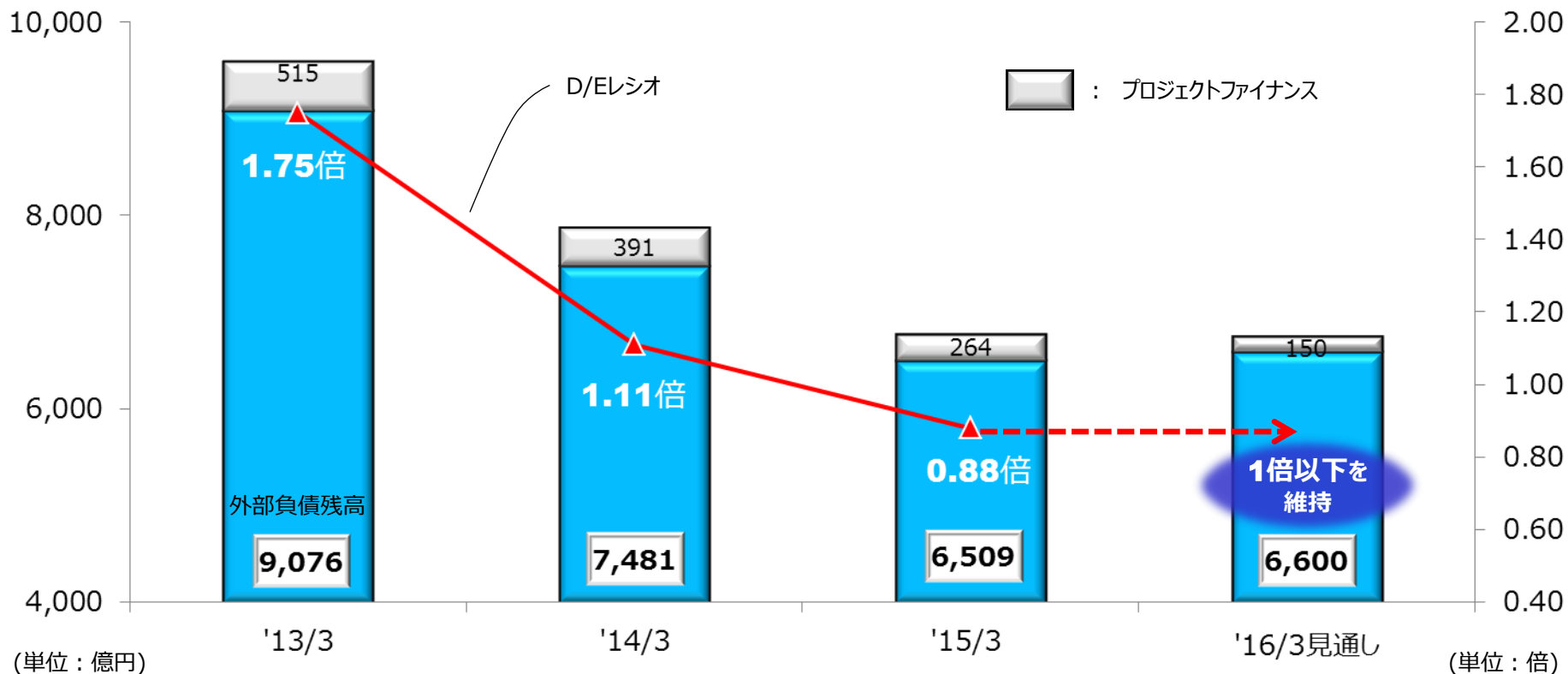
---





ECO WAY

# 【財務の状況】



DEレシオ  
中期目標

1.5倍程度

1.3倍程度

早期に1倍を実現

中期重点施策	取り組み	2013-2015年度	
		2013-2014年度	キャッシュ創出額
キャッシュ創出策	<ul style="list-style-type: none"> <li>● たな卸資産の削減</li> <li>● 債権流動化の推進</li> <li>● 資産売却</li> <li>● 投資の厳選</li> </ul>	<b>1,700億円</b>	<b>1,800億円</b>





## 5. 参考データ

---



ECO WAY

# 【フリーキャッシュフロー】

(単位：億円)

	2014年度	2015年度（7月公表）			2015年度（今回見通し）			差異
	実績	上期	下期	年度 ①	上期	下期	年度 ②	年度 ② - ①
営業キャッシュフロー	1,425	750	800	1,550	<b>488</b>	<b>662</b>	<b>1,150</b>	△400
投資キャッシュフロー	△729	△550	△700	△1,250	<b>△310</b>	<b>△840</b>	<b>△1,150</b>	+100
プロジェクトファイナンス除く フリーキャッシュフロー	696	200	100	300	<b>177</b>	<b>△177</b>	<b>0</b>	△300
プロジェクトファイナンス 返済原資	98	50	100	150	<b>41</b>	<b>59</b>	<b>100</b>	△50
プロジェクトファイナンス含む フリーキャッシュフロー	794	250	200	450	<b>218</b>	<b>△118</b>	<b>100</b>	△350
プロジェクトファイナンス除く 現金残高	840	1,200	750		<b>1,155</b>	<b>700</b>		△50



ECO WAY

## 【設備投資の状況】

(単位：億円)

	2012年度	2013年度	2014年度 ①	2015年度 ②	差異 ②－①
設備投資<計上>	1,149	1,014	1,035	<b>1,150</b>	+115
対減価償却費	108%	122%	115%	<b>121%</b>	+6%
設備投資<支払い>	1,095	954	953	<b>1,100</b>	+147
対減価償却費	103%	115%	106%	<b>116%</b>	+10%
減 価 償 却 費	1,067	829	898	<b>950</b>	+52



ECO WAY

**【財務指標】**

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度 上期
<b>R O S ( ※ 1 )</b>	△1.1%	4.7%	5.4%	3.6%
<b>1株あたり当期純利益</b>	△8.98円	22.62円	23.81円	3.70円
<b>R O E ( ※ 2 )</b>	△5.2%	11.9%	12.0%	--
<b>R O A ( ※ 3 )</b>	△0.8%	3.8%	4.4%	--
<b>D / E レ シ オ</b>	1.75倍	1.11倍	0.88倍	0.91倍

※1：売上高経常利益率

※2：自己資本、総資産は期中平均値を適用



ECO WAY

# 全社 差異内訳（15年度上期 7月公表 ⇒ 実績）

(単位：億円)

	2015年度（7月公表）			2015年度（今回見直し）		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	<b>400</b>	550	950	<b>330</b>	220	550

**△ 70**

増益要因			減益要因		
原料価格	+	<b>35</b>	生産・出荷	△	<b>15</b>
連結子会社・持分法	+	<b>5</b>	総コスト	△	<b>25</b>
鉄鋼為替影響	±	<b>0</b>	鉄鋼在庫評価影響	△	<b>5</b>
			アルミ・銅在庫評価影響	△	<b>5</b>
			その他	△	<b>60</b>
合計	+	<b>40</b>	合計	△	<b>110</b>



ECOWAY

# 鉄鋼 差異内訳（15年度上期 7月公表 ⇒ 実績）

(単位：億円)

	2015年度（7月公表）			2015年度（今回見直し）		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	<b>120</b>	230	350	<b>75</b>	125	200

△ **45**

増益要因			減益要因		
原料価格	+	<b>35</b>	総コスト	△	<b>55</b>
生産・出荷 為替影響	±	<b>0</b>	在庫評価影響	△	<b>5</b>
	±	<b>0</b>	その他	△	<b>20</b>
合計	+	<b>35</b>	合計	△	<b>80</b>



ECOWAY

# 全社 差異内訳 (15年度 7月公表 ⇒ 今回)

(単位：億円)

	2015年度 (7月公表)			2015年度 (今回見直し)		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	400	550	<b>950</b>	330	220	<b>550</b>

**△ 400**

増益要因		減益要因	
原料価格	+ <b>45</b>	生産・出荷	△ <b>75</b>
鉄鋼為替影響	± <b>0</b>	総コスト	△ <b>25</b>
		鉄鋼在庫評価影響	△ <b>25</b>
		Alミ・銅在庫評価影響	△ <b>40</b>
		連結子会社・持分法	△ <b>125</b>
		その他	△ <b>155</b>
合計	+ <b>45</b>	合計	△ <b>445</b>



ECOWAY

# 鉄鋼 差異内訳 (15年度 7月公表 ⇒ 今回)

(単位：億円)

	2015年度 (7月公表)			2015年度 (今回見直し)		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	120	230	<b>350</b>	75	125	<b>200</b>

**△ 150**

増益要因		減益要因	
原料価格 為替影響	+ <b>45</b> ± <b>0</b>	生産・出荷 総コスト 在庫評価影響 その他	△ <b>50</b> △ <b>55</b> △ <b>25</b> △ <b>65</b>
合計	+ <b>45</b>	合計	△ <b>195</b>





ECO WAY

# 全社 差異内訳 (14年度上期 ⇒ 15年度上期)

(単位：億円)

	2014年度			2015年度 (今回見通し)		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	<b>461</b>	555	1,016	<b>330</b>	220	550

△ **130**

増益要因		減益要因	
原料価格	+ <b>440</b>	生産・出荷	△ <b>240</b>
アルミ・銅在庫評価影響	± <b>0</b>	総コスト	△ <b>25</b>
		鉄鋼在庫評価影響	△ <b>40</b>
		鉄鋼為替影響	△ <b>75</b>
		連結子会社・持分法	△ <b>150</b>
		その他	△ <b>40</b>
合計	+ <b>440</b>	合計	△ <b>570</b>



ECOWAY

# 鉄鋼 差異内訳 (14年度上期 ⇒ 15年度上期)

(単位：億円)

	2014年度			2015年度 (今回見直し)		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	<b>104</b>	183	287	<b>75</b>	125	200

Δ **29**

増益要因		減益要因	
原料価格	+ <b>440</b>	生産・出荷	△ <b>250</b>
		総コスト	△ <b>25</b>
		在庫評価影響	△ <b>40</b>
		為替影響	△ <b>75</b>
		その他	△ <b>79</b>
合計	+ <b>440</b>	合計	△ <b>469</b>



ECO WAY

# 全社 差異内訳 (14年度 ⇒ 15年度)

(単位：億円)

	2014年度			2015年度 (今回見直し)		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	461	555	<b>1,016</b>	330	220	<b>550</b>

**△ 466**

増益要因		減益要因	
原料価格	+ <b>720</b>	生産・出荷	△ <b>540</b>
		総コスト	△ <b>5</b>
		鉄鋼在庫評価影響	△ <b>55</b>
		アルミ・銅在庫評価影響	△ <b>50</b>
		鉄鋼為替影響	△ <b>105</b>
		連結子会社・持分法	△ <b>220</b>
		その他	△ <b>211</b>
合計	+ <b>720</b>	合計	△ <b>1,186</b>



ECOWAY

# 鉄鋼 差異内訳 (14年度 ⇒ 15年度)

(単位：億円)

	2014年度			2015年度 (今回見直し)		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	104	183	<b>287</b>	75	125	<b>200</b>

**△ 87**

増益要因		減益要因	
原料価格	+ <b>720</b>	生産・出荷	△ <b>560</b>
総コスト <small>※P24参照</small>	+ <b>5</b>	在庫評価影響	△ <b>55</b>
		為替影響	△ <b>105</b>
		その他	△ <b>92</b>
合計	+ <b>725</b>	合計	△ <b>812</b>



ECOWAY

# 全社 差異内訳 (15年度 上期 ⇒ 下期)

(単位：億円)

	2014年度			2015年度 (今回見直し)		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	461	555	1,016	<b>330</b>	<b>220</b>	550

**△ 110**

増益要因			減益要因		
原料価格	+	<b>60</b>	生産・出荷	△	<b>95</b>
総コスト	+	<b>50</b>	Alミ・銅在庫評価影響	△	<b>35</b>
鉄鋼在庫評価影響	+	<b>15</b>	その他	△	<b>120</b>
連結子会社・持分法	+	<b>15</b>			
鉄鋼為替影響	±	<b>0</b>			
合計	+	<b>140</b>	合計	△	<b>250</b>



ECO WAY

# 全社 差異内訳 (15年度 9月公表 ⇒ 今回)

(単位：億円)

	2015年度 (9月公表)			2015年度 (今回見直し)		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	350	300	<b>650</b>	330	220	<b>550</b>

**△ 100**

増益要因			減益要因		
原料価格	+	<b>15</b>	生産・出荷	△	<b>30</b>
総コスト	+	<b>20</b>	鉄鋼在庫評価影響	△	<b>15</b>
アルミ・銅在庫評価影響	±	<b>0</b>	連結子会社・持分法	△	<b>20</b>
鉄鋼為替影響	±	<b>0</b>	その他	△	<b>70</b>
合計	+	<b>35</b>	合計	△	<b>135</b>



## 企業理念

1. 信頼される技術、製品、サービスを提供します
2. 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます
3. たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します

以上の理念の下、グループ全体としての企業価値を向上させます。



## 将来見通しに関する注意事項

- **本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略など、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまいう可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。**
- **上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいます。また、要因はこれらに限定されるわけではありません。**
  - 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
  - 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
  - 為替相場の変動
  - 原材料の Availability や市況
  - 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M&Aなどの事業展開
  - 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化